

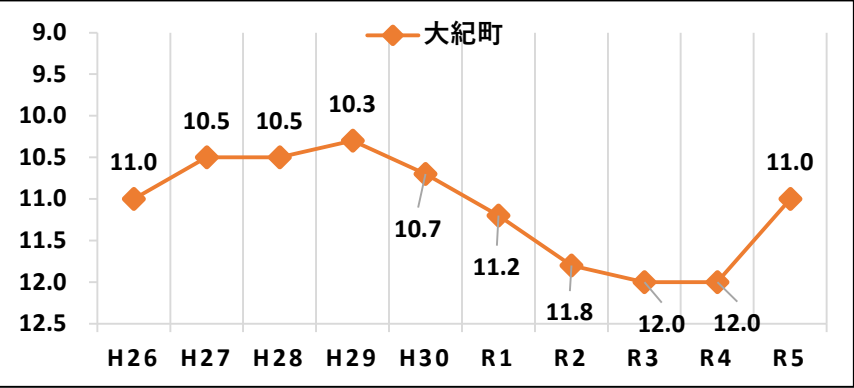
令和5年度決算に基づく健全化判断比率等の算定結果

健全化判断比率	令和5年度	令和4年度	増減率	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	—	15.0
連結実質赤字比率	—	—	—	20.0
実質公債費比率	11.0	12.0	-1.0	25.0
将来負担比率	0.0	12.5	-12.5	350.0
資金不足比率	令和5年度	令和4年度	増減率	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	—	20.0

【実質赤字比率】 ・大紀町の場合は、実質的な赤字が発生していないので指数も発生しません。

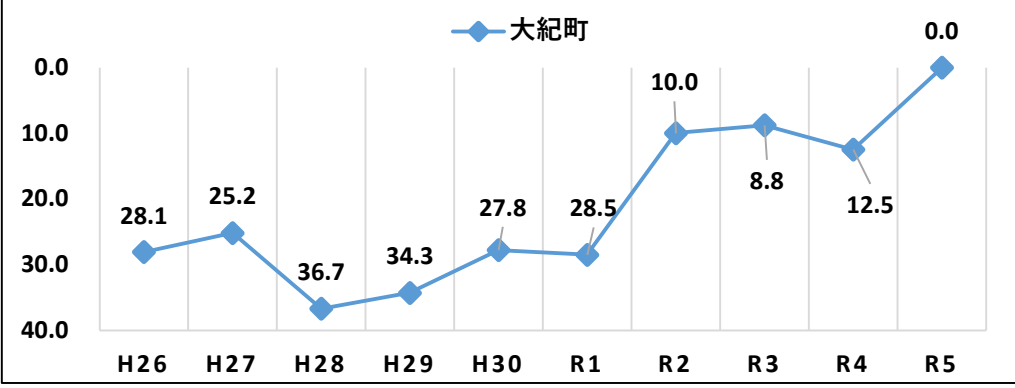
【連結実質赤字比率】 ・大紀町の場合は、実質的な赤字が発生していないので指数も発生しません。

【実質公債費比率】



今年度は昨年度より1.0ポイントの改善となりました。令和4年度に行った地方債の繰上償還の影響により、公債費が減少したことが主な要因と考えられます。

【将来負担比率】



昨年度より12.5%の大幅な改善となりました。新発債の抑制による地方債残高の減少及び剰余金の積立てによる基金の増加が主な要因と考えられます。また、合併特例事業における既発債が段階的に終了していることも要因の1つと考えられます。